



栃木県地域生活
支援拠点等事例集
第2版

令和6(2024)年12月
栃木県保健福祉部
障害福祉課

1 作成の目的

地域生活支援拠点等の体制整備については、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3か年を期間とする、栃木県障害福祉計画(第7期計画)・栃木県障害児福祉計画(第3期計画)において、「市町村の区域を基本とし、少なくとも1つの地域生活支援拠点等の体制を整備。ただし、地域の実情に応じ複数市町による共同実施も可能。」とし、県内25市町全てにおいて体制整備することを目標値に掲げています。

県としては、県内の整備済み市町に作成いただいた事例をまとめ、事例集として共有することで、更なる拠点等体制機能強化を図って参ります。

また、整備済み市町におかれましても、他市町の拠点等整備の取組及び現状課題を参考に、必要な機能の更なる充実・強化や新たな機能付加等についての検討に御活用いただきますようお願いいたします。

2 整備状況

令和6(2024)年4月時点で整備済み 19か所22市町

3 栃木県ホームページ掲載

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e05/kyotenjirei2018.html>

4 その他の参考資料

厚労省ホームページ 「地域生活支援拠点等」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000128378.html>

5 事例の基本的構成

※あくまで基本的な構成であり、事例ごとに様式や記載内容は異なります。

I 市町の概況

- ・人口、障害者手帳交付数、管内障害福祉サービス事業者数等

II 拠点等体制の概要

- ・整備時期、整備類型、備えている機能
- ・相談、コーディネート窓口
- ・緊急時受け入れ体制

III 設置に至るまでの経緯・スケジュール

- ・検討委員会の開催状況等
- ・設置に際しての補助金等の活用状況、予算等
- ・住民や事業所への周知方法

IV 実績

- ・現在までの登録・利用実績、関係者の研修等の実施状況等
- ・関係機関との連携状況
- ・課題

V 今後の方針

- ・必要な機能の充実・強化や今後整備したい機能等

VI その他の関連する取組、参考資料

【整備済市町一覧】

No.	市町名(県政順)	整備類型	整備時期
1	宇都宮市	面的	令和 3(2021)年3月
2	足利市	面的	平成31(2019)年1月
3	栃木市	面的	平成28(2016)年11月
4	佐野市	多機能+面的	平成29(2017)年4月
5	鹿沼市	面的	令和 2(2020)年4月
6	日光市	多機能	平成29(2017)年12月
7	小山市	多機能	平成30(2018)年10月
8	真岡市	面的	平成30(2018)年4月
9	大田原市	面的	平成30(2018)年4月
10	那須塩原市	面的	令和 3(2021)年7月
11	さくら市	面的	令和 5(2023)年4月
12	那須烏山市	面的	令和 4(2022)年1月
13	下野市	面的	令和 2(2020)年4月
14	上三川町	面的	令和 4(2022)年4月
15	芳賀郡(益子町・茂木町・市貝町・芳賀町) ※圏域で整備	面的	平成30(2018)年4月
16	壬生町	面的	令和 3(2021)年4月
17	野木町	面的	令和元(2019)年7月
18	那須町	面的	令和 2(2020)年4月
19	那珂川町	面的	令和 6(2024)年3月